

佐賀県を拠点に活動する高齢者のパソコンクラブ「シニアネット基山」と「シニア情報生活アドバイザー(SIA) 佐賀」の代表久野美津代さん。同県はインターネット交流サイト(SNS)の導入などに先進的なことで知られているが、高齢者の情報化にも力を入れている。

久野さんは県の支援も受けながら、佐賀市、武雄市、有田市など県内6市町で、高齢者のパソコン学習を指導するシニア情報生活アドバイザーの育成に取り組んでいる。同アドバイザーはニューメディア開発協会(東京都中央区)が認定、推進する高齢者のIT指導者の養成制度だ。

シニア デジタル達人伝



高齢者の情報化支援



SIA佐賀が主催した高齢者向けのiPad講座。正面のホワイトボードの前に立つのが久野美津代さん。佐賀県有田市

パソコンの便利さに感動。おもちゃ店を開業する機会にパソコンを導入したが、使い方がさっぱり分からない。知り合いの紹介で詳しい人が親身に教えてくれた。

パソコン初心者の応援をしよう、高齢者が身近な場所ですと1999年、地元で「シニアネット基山」を立ち上げ、そのノウハウを県全体に普及させようと頑張っている。

パソコンやネットワークさえ使えれば、体調の悪いとき、「風邪を引いたのできょうのボランティアはお休みします」とメールを書くこと、食べられそうなものを持つべき

「シニアネット基山」は「http://www.senior-net.jp/kiyama/」 「SIA佐賀」は「http://siasaga.web.fc2.com/」。

パソコン指導者育成に力

ネット利用がシニアの間に普及する鍵を握るのは、良い講師の確保であることは間違いない。タブレット型多機能携帯端末が発売された直後は、東京から講師を招いて最新の講座を開催。久野さんは愛車できょうも県内を走り回っている。

(老テク研究会事務局長・近藤則子)